



予選レポート

2024/5/18 Rd-2 AUTOPOLIS

天候：晴れ 気温：30℃ 出走台数：21台

気温 10 度前後の真冬の開幕戦鈴鹿から、2 ヶ月のインターバルを開けて迎えた九州唯一の国際サーキットオートポリスは、初夏を思わせる晴天の下、予選開始時には気温 30 度、路面温度は 50 度まで上がる絶好の観戦日和となった。

第 1 予選 A 組の太田選手は、コースチェックのためコースオープンと同時に中古タイヤでコースイン。ウォームアップ翌周のアタックに向けて予選残り 3 分で新品タイヤを装着してアタックに向かった。第 1 セクター、第 2 セクターとトップタイムには僅かに届いていなかったが、第 3 セクターで大きくタイムを伸ばし首位で第 2 予選へ進む。

B 組の牧野選手もウォームアップ翌周のアタックへ向かう。

第 2 セクターでベストタイムを記録した牧野選手は、B 組首位のタイムを記録。

牧野選手、太田選手ともに各組トップタイムで第 2 予選へ進んだ。

第 2 予選に向けセットアップ修正をした牧野選手は、第 1 セクターで全体ベストタイムを記録、セクター2-3 でも自己ベストを更新するが、岩佐選手のタイムの上げ幅には届かず 2 位となる。セットアップ変更をせず臨んだ太田選手は、1 コーナーでわずかにタイムロス。第 2 セクターでロスを取り戻すも第 3 セクターで伸び悩み、7 位で予選を終えた。

5：牧野任祐 選手 予選 2 位 (第 1 予選 B 組 1 位 第 2 予選 2 位)

正直、午前中のフリー走行の走り始めはグリップ感も手応えも感じられず、戦える感じではありませんでした。そこからセットアップを進めるたびに良くなり、予選でもパフォーマンスを出すことが出来ました。

第 2 予選では、第 1 予選で気になった部分をより突き詰めた結果、自身のタイムを更新できました。岩佐選手に届かなかったのは悔しい部分もありますが、手応え的に間違った方向にはないと思うので、明日に向けてしっかり準備して臨みます。

6：太田格之進 選手 予選 7 位 (第 1 予選 A 組 1 位 第 2 予選 7 位)

牧野選手と同じく、朝のフリー走行序盤は苦戦していました。ただそこからのチームのリカバリーは素晴らしく、感触はどんどん良くなり、第 1 予選は首位通過できました。第 2 予選に向けてセットアップを修正するかどうか悩んだことと、いくつかミスもありタイムを伸ばすことが出来ませんでした。持っているパフォーマンスを引出せず、悔しい気持ちでいっぱいです。明日はスタートと柔軟な戦略で表彰台を目指したいです。